



連続少女殺人事件異聞（トピックス 宮崎問題論考）

島田, 照三

(Citation)

神戸大学医学部神緑会学術誌, 6:114-116

(Issue Date)

1990-06

(Resource Type)

departmental bulletin paper

(Version)

Version of Record

(JaLCD0I)

<https://doi.org/10.24546/81007157>

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/81007157>



宮崎問題論考

埼玉県で発生した犯罪史上例をみない〈幼女連続誘拐殺人事件〉の罪に問われた宮崎勤被告（27歳）の初公判が、本年3月30日、東京地裁で開かれた。その後再び5月中旬類似事件が栃木県足利市でも発生した。

一連の事件をどのように考えるか、今後の裁判を注目していく上で、専門外の読者にとっても関心のある問題と思われる。今回のトピックスは、精神科の専門家3名より、それぞれの立場からみた宮崎勤被告の異常性を分析してもらった。

連続幼女殺人事件異聞

前神戸大学医学部精神神経科助教授 島田 照三
(現島田クリニック、39年卒)

×月×日

おじいちゃんの骨拾いに行ってきた。トタン板の様なものの中に灰と一緒に骨があちこちにちらばって……。もっともっと悲しい感じがするのかなと思ったけれども案外平静な気持だった。涙も出なかったし。日頃気丈なお母さんでも涙を流しながら拾っていたのに。僕は少し心が冷たいのかな。そういえば、お葬式の前に、おじいちゃんが嬉こぶだろうと思って、僕の出来る唯一つのこと、飼い犬のジョンのなき声をテープで流した時、皆が僕のことを変な目でみていたけど、僕はおじいちゃんが可愛がっていたジョンの声を最後にききたいだろうと思ってただけで……。皆さんと僕はものの考え方が違うのかな……。まあ大人の考え方はいろいろあってややこしいし、考える丈でも面倒だから。もう眠ることにする。

×月×日

おじいちゃんが亡くなって十日たった。始めの頃は別に何とも思わなかったけれど、この頃になって、何となく心にポッカリ穴が開いたような気持で……。淋しいとか悲しいとかというのではないけれども、何か虚ろな感じがして、何をやる気にもなれない。ボンヤリと寝ころんで一日を過ごすことが多い。僕のことをとても可愛がってくれたおじいちゃんのことを思い出していることもあるし……。お父さんは、おじいちゃんの仏前に線香でも供えたらというけれども、自分でも

不思議なくらい何もする気になれない。僕の心の中に思っていた以上におじいちゃんのことを占められていたのかな。お父さんは何となく頼りにならないし、お母さんは毎日の生活で精一杯だし、やはり、僕はおじいちゃんのことを一番頼りにしていたように思う。今急に涙がこみ上げて来た。今夜はビデオも見たくない。

×月×日

僕がボーッと毎日過しているのを両親共に心配しているらしい。何とか元気を出そうと思うのに余計にボーッとして何もしたくない。親と話すのも億劫だし、外に出る気もしない。一日中ゴロゴロねて、ボンヤリとビデオを見ている丈だ。きっとそんな僕に気遣ったのだろう。父さんが僕の車を買ってくれるという。もちろん、以前から店の車でなく自分の車が欲しかったから買ってもらうことにした。前から思っていたラングレーにした。値段も手頃だし。色はブルーがいい。目立つし、はっきりとしているのが好きだ。白色ははやっているけど皆が乗っていてどこにでもあるというのが厭だ。そういえば少し元気が出て来たかな。誰にも邪魔されずに自分の世界が持てる。さあ少し外を乗り廻してみるか。

×月×日

車を運転して、案外格好いい女の子を助手席に乗せている奴が多いことにびっくりした。僕よりも若い年

年齢の男が可愛い女の子を隣にのせているなんて……。腹が立つような…羨ましいような。あいつら皆うまくやっているんだろうな。僕もビデオでは何度もみて知っているけれど、一度女の子と仲良くしたいな。でも今迄一度も女の子と恋をしたこともないし、手を触れたこともない。でも実際に僕に女の子ができて手を握ることが出来るかな——。自信がないな。何かこう馬鹿にされそうで。もしそんなに見下げるような態度をされたらもうたまらないだろうな。プライドは傷つくし。もしそんなようにしかならないのだったら始めから近づかない方がいいだろうな。でも可愛い女の子が隣に坐ってくれたらどんなに素敵だろうな。

×月×日

今日、買って来たビデオは今迄になく新鮮だった。どぎついセックスのビデオやSMのビデオも結構、始めのうちは興奮したけれど、何度も繰返して見ているうちに、何かいやらしくて気分が悪くなって途中で止めることが多かった。けれども今日のビデオはすごく興奮した。女子大生がテニスをしていてパンチラが写っているだけなんだけど、すごく清潔で、ドキドキしてしまう。大人の男や女のいやらしい裸体がうごいているのではなくて、奇麗な細い二本の足が健康そうに動いて、その間に時々パンチラがあって、見えそうで見えなくて……。本当に感激だ。明日も又ビデオを買いに行こう。あーあ、眠れそうにないな。短かいスカートの中から真白いパンチラが目につらついて……。

×月×日

テニスのパンチラにも少し飽きて来た。いつも同じパターンだから。ロリコンのビデオも見たけど、幼い女の子よりやはり若いギャルの方が僕は好きだな。しかしもうビデオも見飽きたので少しきっちり整理しておこうと思う。それにしてももっと何か面白いことはないかな——。そうだ、自分でテニスをしている女の子をビデオで撮ってみようかな。これは面白そうだ。以前にも多摩辺りで女子大生が多勢テニスをしていた処があったな——。あんな処でビデオカメラを廻したらきっと新鮮なものが出て来ると思う。でも、もし馬鹿にされたり、叱られたり、多勢に取り囲まれておどされたりしたらどうしよう。若い女の子に冷たくされるのが一番ショックだからな——。まあ、一度やってみるか。ラングレーもあることだし、遠くからズームを使って撮れば、案外うまくいくかも知れない。

×月×日

ビデオで再生してみたら、満足マンゾク。買ったものと違って、さっき迄僕自身の眼で確かに見ていたものが写っているのだから最高!!。僕が実際に体験したパンチラがこのビデオにおさまっているのだから。この興奮はすごい。しかし、最後のグループは少しショックだったな。皆が僕の方をみて、さげすむような眼つきで……中にはうす笑いをしていた女の子もいたな。すぐにスイッチを切って別な方向へカメラを廻したからビデオには幸い写ってなくてよかったけれども。でも何かしらすごい劣等感を憶えたな——。小さい頃からよくいじめられたけれど、僕は強いものにはひどくおびえる性格があるのかな。この劣等感だけは何度経験しても厭だな。こんなにわびしいものはないと思う。でもいいや、あすも可愛い子ちゃんをかくし撮りしよう。

×月×日

今日、すごい経験をした。テニスのパンチラを撮っている間に可愛い女の子の尻、そう4才位かな、僕の側に来てじっとカメラを見ているんだ。こっちにおいでといたらニコニコして僕の膝に乗って来て、ホッペをすりよせてもうれしそうだったし。膚もスベスベしてとても気持ちよかった。足をブランブランさせて、その感触もいいし……。こんな小さな女の子だったら、あのテニスの女子大生のように僕を馬鹿にもしないだろうし、僕の言うことを素直に聞いてくれるだろうし。第一、劣等感を全く味わわずにすんで、しかも僕のいいなりになるなんて。こんな小さな女の子だったら僕の彼女にすることが出来る。そう思って呆然としていたところに母親らしい女の子の人が来て、彼女の名前を呼んで向うに連れて行ってしまった。でも僕の自由になるのが若い女の子だったらもっと素晴らしいだろうな。

×月×日

とうとうやってしまった。本当ははずみだったんだ。ラングレーから幼い女の子に話しかけたらニコニコと車に乗って来たんだ。思わず頬ずりをして抱きしめている内に下着を脱がしてしまっ——、とそこでびっくりする程大きな声で泣きだしたんだ。僕のいいなりになると思いこんでいたのに、随分びっくりしてしまっ……。気がついたらグッカリとして、息もとまっていた……。どうしようどうしようと。廻りをみても誰も見ていないようだし、とりあえず車で僕の家まで帰って来た。こっそりと僕の部屋迄運んで。ビニール袋に入れて隅においておいたけど、何か一寸気持ち悪

いな。でもビデオを見ながら気分をしづめて。どうしたらいいかな——。人を殺したなんて思えない位静かな。殺人犯なんて皆こんな気持なのかな。

×月×日

今朝の新聞を見て驚いた。だって僕は間違いなくMちゃんを殺して、その三日後に悪臭がして来たので仕方なく前の畑でゴミやワラと一緒にMちゃんの遺体を焼いて、その翌日バレたらいけないと思って拾い集めておいた骨を部屋にかくしていた。その骨をMちゃんの家の前にダンボール箱に入れて置いて来た。だのに新聞にはMちゃんの骨とは違うと専門家が云っていると載っているんだ。驚ろきよりも、僕が本当にMちゃんを殺さなかったのではないかと自分を疑ってみたりもする。もし僕が本当は殺していないんだったら僕の存在は一体なんなのだ。いや、やはり僕は絶対に殺したんだ。その証拠があ骨だ。あの骨がMちゃんのものではないなんて、そんな馬鹿な。そんな理不尽があっ

てたまるか。今から警察にあててあの骨がMちゃんのものであるということを書いて出そう。警察につかまらたくはないけれども、でも僕を馬鹿にしている。絶対に僕は殺したんだ。僕がこの手でやったんだ!!。

×月×日

幼い女の子はやはり可愛い。だって僕の誘いに素直にのって来てくれるもの。でも今度の子も大きな声で泣いた。泣かれると困るんだ。そしてつい前のようになって気がついたらグッタリとなっていて。でも以前のようにうろたえなくなった。動きのない身体に触れてみたり、ビデオに撮る余裕もあるし……。ビデオで撮っておくと後で何度も見て、あの時に間違いなく自分が殺ったんだという証拠になって、自分がそこに存在した、確かに存在したということが確信出来てホッとするんだ。不思議な位ホッとするんだ。丁度おじいちゃんの膝の中に抱かれていたときみたいに……。